

うまい!

# 岩船米づくり情報 No. 4

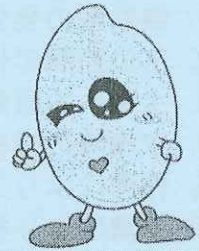
平成 26 年 6 月  
岩船米技術者会議  
村上農業普及指導センター

初期生育やや遅れ・・・今年はエルニーニョ現象発生?・・・

**溝切り・中干しは6月中に仕上げましょう!**

## － 重点事項 －

- ◎ ワキによる生育停滞を回避するため、水の更新や夜間落水を行う。
- ◎ いもち病の伝染源となる補植苗は、速やかに除去する。
- ◎ 田植え後 1 ヶ月をメドに、落水して中干しを開始する。
- ◎ 水田内の用排水路の役目を果たす溝切りは、確実に実施する。
- ◎ 中干し時期を利用して、取りこぼしたヒエや多年生雑草を防除する。



## 1 5月29日現在の生育状況【普及センター調査ほこしヒカリBL】

調査地点	田植日	草丈 (cm、%)			茎数 (本/m <sup>2</sup> 、%)			葉数 (葉)		
		本年	指標比	前年比	本年	指標比	前年比	本年	指標差	前年差
山北(大毎)	5月11日	24	104%	118%	104	116%	99%	4.5	-0.1	-0.3
朝日(川端)	5月16日	15	68%	66%	78	92%	124%	4.4	+0.1	-0.6
村上(鑄物師)	5月19日	17	77%	80%	50	50%	86%	4.0	-0.7	-0.4
神林(牛屋)	5月10日	23	100%	93%	84	93%	58%	5.1	+0.3	-0.2
荒川(名割)	5月12日	20	95%	87%	110	133%	135%	4.7	+0.1	+0.5
関川(下関)	5月15日	12	55%	55%	86	103%	93%	3.8	-1.0	-1.0
平均	5月13日	18	82%	79%	84	97%	98%	4.5	-0.1	-0.3

- 草丈：短い ●茎数：指標値並～やや少 ●葉数：指標値並～やや遅れ
- 管内の田植盛期は5月11日（平年より1日早い）
- 田植え後の低温や強風等により、活着及び初期生育はやや不良（地域差大）で、分けつの発生は一部で始まっています。

## 2 水の更新で根の健全化と生育促進を！ ～ワキ・アオミドロ対策～

- 稲わらを春すき込みしたほ場などでは、気温の上昇に伴いワキ（生わら等の分解により発生する有害なガス）が発生し、根腐れや生育停滞を起こします。
- 今年は田植後の低温の影響で、アオミドロや表層はく離が目立っています。
- 水の更新や夜間落水で“ガス抜き”を行い、根の健全化と生育促進を図りましょう。

## 3 病害虫の徹底防除 ～いもち病とイネミスゾウムシ対策～

- ほ場に放置した補植苗は、葉いもちの伝染源となるので、速やかに除去しましょう。
- いもち病抵抗性が弱い品種で、薬剤の育苗箱処理をしなかった場合は、6月上中旬をめやすに予防粒剤を本田散布し、葉いもちの発生防止に努めましょう。
- 近年、局所的にイネミスゾウムシの被害が目立ちます。殺虫剤を箱処理せず、被害が大きい場合は、殺虫剤による防除を検討しましょう。



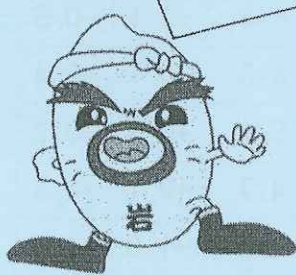
#### 4 田植え後1ヶ月でスタート ～溝切り・中干しのポイント～

- 今年に分げつの発生がやや遅れていますが、これからどんどん発生してきます。
- 中干しの開始時期は、目標穂数の80%の茎数を確保した時期です。
- 田植え後1ヶ月をメドに落水し、溝切り・中干しを確実にいきましょう。
- 生育量が不足している場合も、田植え後1ヶ月をメドにいったん落水することで、ガス抜きの効果で生育が良くなります。

##### ＝溝切り・中干しの様々な効能＝

- ① 無効茎の発生抑制による適正生育量の確保
- ② 下位節間の伸長抑制による倒伏軽減
- ③ 土壌への酸素供給による根の健全化
- ④ 収穫時の機械作業が容易な地耐力の確保
- ⑤ 作溝によりフェーン等の緊急時の迅速なかん水が可能
- ⑥ 作溝により秋の長雨による停滞水の容易な排水が可能

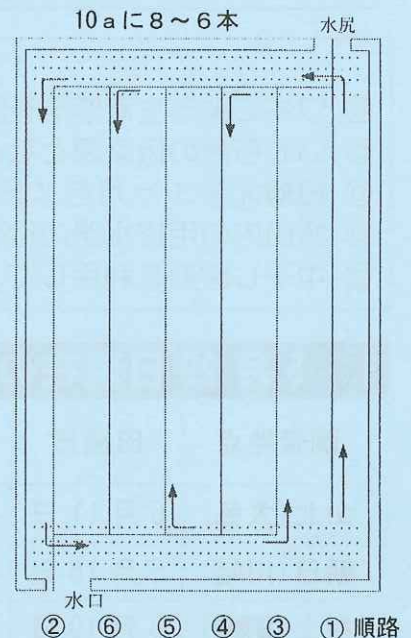
- ・今年エルニーニョ現象の影響で7月の天候不順(梅雨明けの遅れ)が予想されます。
- ・早期の溝切り・中干しで、根がしっかりと張った暑さ寒さに負けない丈夫なイネを作しましょう!



##### 中干し開始時の茎数のめやす (コシヒカリBL・こしいぶき)

- m<sup>2</sup>当たり茎数：300本
- 1株当たり本数  
坪50株植 → 20本  
坪60株植 → 17本

- 溝切りの際は、接続部分を手直しするとともに、必ず水口及び水尻につなぎましょう。
- 中干しは田面に小ひびが入り、軽く足跡が付く程度までいきましょう(右図)。
- 根を広く張らせて登熟向上を図るために、遅くとも出穂1ヶ月前までに終了しましょう。
- 砂質土壌や地力の低いほ場では、弱めの中干しとしましょう。



溝切りの順序



中干し終了時の田面

#### 5 後期雑草防除 ～取りこぼし・難防除雑草対策のポイント～

- 取りこぼしたヒエや多年生雑草等が発生している場合は、中干し時期を利用して茎葉散布剤などの中・後期除草剤の活用を検討しましょう。
- 除草剤により効果のある雑草の種類が異なるので、ほ場に発生している雑草の種類を確認した上で、登録のある除草剤を使用しましょう。

##### ☆ 除草効果を上げるためには？ (茎葉処理除草剤の場合)

- ① 雑草の根元まで薬剤がかかるように、落水して散布する。
- ② 除草剤は、雑草全体にまんべんなくかかるようにする。
- ③ 雑草が部分的に発生している場合は、その部分だけ散布すればよい。